



ゆうこのおひさま通信

～だれもが笑顔でくらせるために～

ゆう しん かい
裕心会 会報



活動メモリー

令和2年
2月6日

じや が み 榛東蛇ヶ見川探索

川底の堆積土や
土手の様子を見る



桜の開花とともに新型コロナウイルスの感染が広がり、各種行事の中止や活動の自粛要請が続いている。県議会でも去る3月26日に新型コロナウイルス感染症に関する補正予算として49億8021万円を可決しました。早期に新型コロナウイルスが終息し、皆様の生活、経済が日常に戻ることを祈るばかりです。一人ひとりが感染予防に対し、できることをやり、がんばっていきましょう。



令和2年
1月24日

干しいも フォーラム (県庁1階ロビーにて)



令和2年
1月19日

元気県ぐんまの 障害者スポーツ フェスタ2019 に参加

東京パラリンピック
内定の唐澤剣也選手を
迎えて、伴走の体験。

新町 子ども食堂訪問

運営の説明等を
受ける。



令和2年
3月9日



令和2年
1月30日

GACHi (ガチ) かける 高校生×県議会議員 (桐生南高校にて)

若者が政治や
議会への関心を
深めるための取り組み



令和2年
2月25日

大学生との シチズンシップ アカデミー

どんど焼



令和2年
1月13日

大林裕子による 県議会での一般質問



4 県内の果樹産地及び 「干しいも」の振興について

(1) 果樹産地の現状等について
(農政部長)
(2) 果樹産地に対する支援策について
(農政部長)
(3) 干しいもの振興について
(農政部長)

5 県道南新井前橋線バイパスの整備について
(県土整備部長)

時間がなく5番はできませんでした

3 子どものインターネットとの 関わりについて

(1) インターネット依存への対応について
(教育長)
(2) 教育の支援体制について
(教育長)

2 教員の働き方改革を進める ことについて

(1) 教員の長時間労働の改善状況について
(教育長)
(2) 教員の長時間労働の改善状況について
(教育長)

1 子どもの命を守るために

(1) 児童虐待への対応についての考えは
(知事)
(2) 児童虐待の現状について (子ども未来部長)
(3) 子育て世代包括支援センターの設置状況について
(子ども未来部長)
(4) 妊婦の支援について
(子ども未来部長)
(5) 若年妊娠、予期しない妊娠を防ぐための取り組みとして
(子ども未来部長)

(1) 学校における性教育について
(教育長)
(2) 県立高等学校での相談体制について
(教育長)

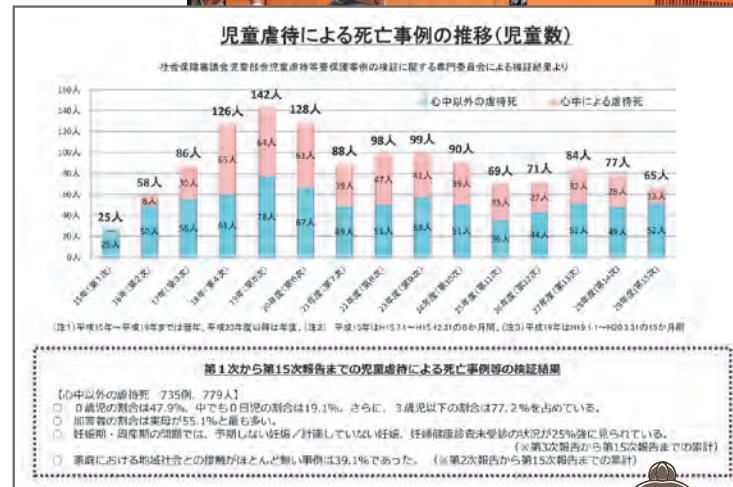
児童虐待への対応についての考えは (知事) (2) 児童虐待の現状について (子ども未来部長) (3) 子育て世代包括支援センターの設置状況について (子ども未来部長) (4) 妊婦の支援について (子ども未来部長) (5) 若年妊娠、予期しない妊娠を防ぐための取り組みとして (子ども未来部長)

2月25日に行いました一般質問で取り上げた事をご紹介をさせていただきます

こどもの命を守ることについて

Q 乳幼児が保護者によって命を奪われる痛ましい事件が頻繁に報道されている。妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援として令和2年度末までに全市町村で設置が努力義務となっている子育て世代包括支援センターの設置状況と県の対応はどうか。

A 現在15市町村で設置している。令和2年度末までに35市町村全部に設置できるよう努める。母子保健と子育て支援を一体的に行う役割をもつ。受け持ち保健師が継続的包括的に対応したり、支援を必要とする妊婦への支援計画をたてたりと、きめ細かな対応をしていく。



※ネウボラとは…
北欧フィンランドでの子育て支援システムで、妊婦さんに対して同じ担当保健師が継続して、家庭全員の身体面、精神面、家族問題などをケアしていく。

要望



フィンランドのネウボラや、先進事例である桐生市の子育て世代包括支援センターの取り組みを全県に広げ、群馬版ネウボラとして保健師と妊産婦との信頼関係を築けるよう取り組んでいただきたい。

Q 小学生・中学生・高校生のネット利用率、時間とも前年度から急激に伸びている。SNSによる誹謗中傷、犯罪に巻き込まれるケース、ネット依存から発生する健康、学習、生活面の様々な問題が起きている。学校現場ではどう取り組んでいくのか。



A ネット依存は喫緊の課題である。学校・家庭・地域で連携し、ネットに依存しないで現実の生活の中で、目標や楽しみを見出したり、SNSに頼らない人間関係作りを学校教育の中で進めたい。

要望

子ども達が主体的にインターネットの正しい知識、危険性を学ぶ必要がある。また、各学校におけるネット依存やいじめ被害の実態を把握して、保護者に周知した上で啓発し、子ども達が元気に登校できるよう対応をお願いしたい。

県内の「干しいも」の振興について

Q 自然食ブームの中、干しいもが大変人気である。県でも今年度まで4年間パワーアッププロジェクトとして、取り組んでいただいた。これまでの取り組みと今後について伺いたい。



A 平成28年度から生産者と共に生産体制、販売促進に取り組んだ。今後も技術の向上、新たな生産者の確保に取り組んでいきたい。

要望

ぜひ今後も農家に力を貸して下さることを要望したい。また干しいもについてGアナライズアンドPRチームで取り上げて頂くとともに県庁32階の動画スタジオから発信していただきたい。

※Gアナライズ&PRとは…
県農畜産物の成分分析をして、消費者に良さを発信。販売促進につなげる取り組み。

皆様の声を県政に！気軽に声をかけて下さい。

〒370-3607

発行者：大林裕子 北群馬郡吉岡町小倉甲91 TEL.0279-54-3745 FAX.0279-54-0593

公式HP

f Facebook

